



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

Governor's Message

国際ロータリー第2750地区 2018-19 年度ガバナー 服部 陽子



「インスピレーションになろう」というRIテーマの下にスタートを切った2018-19年度もいよいよゴールに達しようとしています。99クラブの会長、幹事をはじめとする会員の皆様、ガバナー補佐、地区幹事他の地区チームの皆様のご理解、ご協力を得て、充実した一年を過ごせたことに心からの感謝と御礼を申し上げます。ガバナーという任務は多忙を極め、重責を担って大変だろうと皆様から言わ

れ、年度の始まる前には私自身もそのような認識でおりましたが、いざ始まってみると毎日が新しい発見と素晴らしい方々との出会いでいっぱい、めくるめく過ぎていく日々はまさにインスピレーションが詰まった「エンジョイロータリー」そのものでした。このように「エンジョイガバナー」をさせていただけたのも、周囲の皆様の温かいお励ましとご協力があり、健康に恵まれ体調万全で全てに臨めたからだ、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は“つながりを大切に”という地区方針で、つながってこそお互いにインスパイアし合い、会員維持ができ、よき奉仕活動ができるもの、と考えて過ごした一年でした。地区内のつながり強化のために幾つかの新しい工夫をしました。

①地区情報誌の発行

地区内のクラブや地区の委員会を知る為の情報手段として、地区情報誌「ガバナー月信特別号」を7月に発行したところ、いままでにない便利で役立つものとして、会員の皆様から大変ご好評をいただきました。

②地区のHPのアプリケーション化

会員が地区のHPに携帯で気軽に日々アクセスし、地区を身近に感じることで、地区内のつながりを強化したいと考えてホームページのアプリケーション化をいたしました。

③ロータリーデーの開催

バリー・ラシンRI会長の「地区として、クラブとして、ロータリーデーを開催してください」というご意向を受けて、5月12日(日)赤坂アークヒルズのアークカラヤン広場とサントリーホールの小ホールブルーローズに於いて「ロータリーデー2750フェスタ2019 Connectつながろう!」を開催いたしました。これはロータリーの存在を、その活動を、その楽しさを、広く地域社会のみなさまに知っていただくことを目的としたイベントですが、同時にロータリアン、その家族にとっての交流の場でもありました。初めての試みでしたが、広場のブースは地区内のグループ毎にクラブから出てきたアイデア溢れる楽しい企画がいっぱいでした。ホールでは、ロータ

リーの青少年関連のプログラムの奨学生たちが出揃ってのスピーチ大会や、紛争を解決して平和を推進するというコンセプトのコンサートなど様々なプログラムが展開されました。ロータリーが地域とつながり、ロータリアンの家族とつながり、開催しているロータリアンどうしもつながることが出来て“つながり”を強く感じた一日となりました。

④多クラブ型の同好会の発足

6月は、ロータリーの暦でいうと「ロータリー親睦活動月間」ですが、親睦の輪が一つのクラブの中に留まらずクラブを超えて広がるようにと、今年度は多クラブ型同好会の発足を奨励いたしました。「違うクラブに在籍するロータリアンたちが同じ趣味で集まって楽しい交流の機会としてはどうか」とPETSで提案しました。国際ロータリーには「ロータリアン親睦グループ」があり、世界中のロータリアンがゴルフやワインのグループに参加できるようになっています。今年度はまずは地区内にそのような同好会を作り、先々はそこからロータリアン親睦グループに発展するものが出てくるかもしれないと考えました。現在、東京白金ロータリークラブのジャズ同好会、東京世田谷南ロータリークラブのスキー同好会、東京西ロータリークラブの陶芸同好会をはじめ、7つの同好会が活動を始めています。クラブを超えた交流を楽しむロータリアンが増えて、交流の輪、友情の輪が広がり、ロータリーへのつながり強化になっていくことを期待しています。

⑤ポール・ハリス・ソサエティーの会員増強

ポール・ハリス・ソサエティーとは、ロータリー財団に継続的な支援を行うという志を持ったロータリアンの会です。今年度はポール・ハリス・ソサエティーの会員増強にも努めました。結果、昨年度まで地区内50名ほどであったソサエティー会員が2倍以上に増えて、現在は113名の会員数となり、これは日本の34地区の中でも圧倒的にトップとなっています。そこで、会員間の交流も図ろうと、5月7日にパレスホテルに於いて「ポール・ハリス・ソサエティーの夕べ」を開催、松本白鷗さんを講師にお迎えして華やかな晩餐会となりました。

以上、今年度行った2750地区の会員基盤強化のための試みを振り返ってみましたが、この成果が数字になって表れるのはおそらくこれから先の年度なのだろうと思っています。今年度撒いた種が、ロータリーの継続性の中に近い将来、花開き実を結ぶことを願ってやみません。

10年に一度のグアムで開催の地区大会、地区から250名近くの参加のあったハンブルグでの国際大会、奉仕プロジェクトを共有し合い奉仕のインスピレーションとなった「奉仕のつどい」、どれもみな忘れられない思い出です。みなさまのおかげでたくさんのインスピレーションをいただいた一年でした。みなさま、本当にありがとうございました。

ロータリーデー 2750 フェスタ 2019 Connect つなごう!!

ロータリーデー組織委員会 委員長 宮崎 陽市郎（東京三鷹 RC）

5月12日、爽やかな五月晴れの下、2750地区としては初めての「ロータリーデー」が開催されました。地域の方々、ロータリアン、ロータリーファミリーを合わせると、推定4,000人の人々で賑わいました。

サントリーホール ブルーローズで開催された、「青少年スピーチ大会」は、青少年奉仕のさまざまな活動に横串を入れ、“つながる”初めての機会となったと同時に、ロータリーの多様な青少年奉仕活動を多くの人に知っていただくことができました。青少年奉仕委員会を中心とする、ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会、スポーツ・文化支援委員会の素晴らしい企画でした。

野外ステージでの、「ドラえもん」「ラスカル」のオンステージ、港区の後援をいただけたのも、地区内のロータリアンのご尽力がなければ叶わなかったでしょう。

テントブースでは、各グループのガバナー補佐を中心に、クラブからの提案で様々な、親子で楽しめる企画を、アーク・カラヤン広場内では、奉仕プログラム委員会がSAAを担当、ローターアクター・ライラリアンがサポーターを、フィナーレの大抽選会では、会員委員会が全ての企画、進行をしてくださいました。「総務」「ホール」「ステージ」「ブース」の4部門を仕切っていただいたのは、公共イメージ委員会、ロータリーデー委員会、地区幹事、地区副幹事、研修委員会の皆さんです。

浅田ガバナーエレクト、小島ガバナー補佐のご尽力で、株式会社ドトールコーヒー、株式会社シンクランの協賛、森ビル株式会社の協力を頂く事が出来ました。

クラブの皆さんには、1,200枚以上のポロシャツ、軽音楽、クラシック音楽のチケット購入、当日のサポーターも協力いただきました。その他、救護班や昼食の差し入れをしていただいたのも、ロータリアンです。

バルカン室内管弦楽団のポリオ撲滅チャリティーコンサートでは、地区として31万7千円を寄付することが出来ました。ご協力いただいた、全てのロータリアン、組織委員会の皆様に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

お陰様で、服部陽子ガバナーの素晴らしいリーダーシップのもと、つながりの輪も広がり、『ロータリーデー』開催の意義深さを、私も実感する機会となりました。

赤坂アークヒルズにたくさんの笑顔の花が咲いた一日でした。

詳細は、ロータリーの友7月号をご覧ください。



2018-19 年度を振り返って

地区研修リーダー 辰野 克彦（東京西 RC）



服部陽子さんが我が地区ガバナーにノミネートされ、少し経ってのことですが、「ガバナーに正式に決まりましたら、地区研修リーダーをお願いします」と言われました。私は服部ガバナーとは、2005年シカゴロータリーワンの創立100年の記念式典にシカゴにご一緒した時始めてお目にかかりました。その後、私がガバナーを務めました時は地区幹事をお願いし、国際ロータリー第1、2、3ゾーン地域別会員増強推進計画プロジェクトリーダーを務めました時はその補佐をお願いし、何かとご助力いただき借りばかり出来ておりまして、そのお返しにはなりません、受けさせていただきました。

いざ始まりましたら、私が服部ガバナーを支えるというのではなく、私自身勉強になることが幾つもありました。地区の幹事団・研修委員に対し最初に話されたこと、それは「準備は早目に、早すぎるということはありません」でありました。これは私自身それまで出来ていないことであり、今も充分出来ていませんが、身に染みたことが思い出されます。

服部ガバナーはこのエレクト時代ですが、研修が重要なお仕事と位置づけられ、ガバナー補佐研修であれ、3大研修であれ服部ガバナーエレクトが中心となって引っ張っていただきました。これら年度が始まる前の研修はお

蔭さまで充実した内容の研修となったのではないかと思います。服部ガバナー、「年度の始まる前の研修が何といっても大切である」という強い意思がなした結果であります。

服部ガバナーが意欲的積極的であることの表れは枚挙にいとまがありませんが、私がRI関係で務めておりますお役目のハンブルク国際大会推進コーディネーターの関係から一つ申しますと、服部ガバナーはエレクト時代国際協議会におきまして地区からの参加目標を250名と掲げていただきました。ハンブルクという遠隔地で行われます国際大会としては大変意欲的目標であります。お蔭さまで他地区のガバナーエレクトの多くが意欲的な目標を掲げていただき34地区合計つまり日本全体で2,256人という実に高い目標となり、結果はハンブルクには2,300人以上の方にご参加いただくことができました。日本全体のハンブルク国際大会推進担当としても大変嬉しく思った次第です。

地区研修委員会の委員長も務めさせていただきましたが、26回開催し、前半は服部ガバナーに引っ張っていただき、研修委員会の委員長は事実上服部陽子さんでした。後半は副委員長の宮崎陽市郎さんが実質委員長として仕切っていただきました。そして、金沢 洋さん羽田伊助さん村田彰子さんというこれまた優秀なロータリアンに委員になっていただき、期待通り務めていただき、自画自賛にもなりますがよく研修の役割が果たせた研修委員会でした。関係各位に厚く御礼申し上げます。

2018-19 年度を振り返って

地区代表幹事 青柳 薫子（東京広尾 RC）



好天に恵まれた5月12日、RI2750地区初の試みのロータリーデーが成功裏に終わり、服部年度最後の行事は、ハンブルグ国際大会ガバナーナイト、第4回クラブ会長・幹事会、打ち上げ会を残すのみとなりました。準備期間からの2年半、地区代表幹事としての重責を全うしなくてはならないという緊張からまもなく解放されるという安堵感がある一方、「これで良かったのだろうか？やり残していないだろうか？」との複雑な気持ちで、今この原稿に取り組んでいます。

服部ガバナーは、これまでのロータリーの経験を十二分に生かされ、豊富な知識のもと、より良いものを目指して地区のイベント1つ1つに丁寧に取り組みました。当該年度を迎える前の早い時期から、一年間の構想を練られ、地区組織、研修、スケジュール等を全て見直し、様々な新しい試みに果敢にチャレンジされました。

具体的には、時代のニーズに合わせて携帯スマホアプリの開発、ロータリーの地区情報が網羅されているガバナー月信特別号の作成、毎年1,000ドルを財団へ

寄付する事をお約束したポール・ハリス・ソサエティー会員のための特別晩餐会、ロータリーの活動を広く地域の人に知ってもらうためのロータリーデーの開催等々があります。真摯に熟考され、斬新な企画を打ち出し、実現に向けて取り組まれる姿勢はまさに服部ガバナーの生き方そのものです。これこそが周りの人を動かす原動力になっていることを、私は実感しています。

今年度のRIのテーマ“Be The Inspiration”を率先して見事に実現されました。

ガバナーのこうした熱い思いを形にとするため、困難な事案の調整を行い、多くの方と協力し実行をサポートしていくことが私の代表幹事としての大切な役割でした。率直に言って、あまりの激務に疲労困憊、ギブアップ寸前に陥ったことも多々ありました。しかし、今となっては目標にむかって真剣に取り組み、休日返上で議論を交わし準備を重ねた濃密な時間が、なんと懐かしく感じられます。

生きることは“出会い”です。多くのロータリアンとのかかわりや様々な経験は、今後の私の人生の宝となっていく事を確信しています。素晴らしい輝きの時間にかかわって下さった全ての方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

2018-19 年度を振り返って

千代田グループ ガバナー補佐 保坂 紀久雄（東京新橋 RC）



服部ガバナーは勿論のことですが地区の役員の方々はいずれもベテランで実にエネルギッシュな方ばかりで圧倒されました。現在もこの思いは変わりません。千代田グループは僅か8クラブですので、ガバナー公式訪問前に何回も例会に出席させていただきました。

超大型クラブと中堅クラブは、事業も様々お持ちでクラブ運営も安定していると拝見致しました。会員の少ない3クラブは、例会の出席者数も少なく、不安を感じて複数回訪問し、そのクラブの良いところを見つけるようにしました。そうしてみると、特記すべき事業があること、例会の運営が独自なこと等会長の強い個性で率いられて立派に活動していることがわかりました。グループ協議会では会員増強の難しさが話題になりました。その他、交換留学生の受け入れについては来日する一年以上前から引受ファミリー捜しができるよう制度を考えて欲しいとの要望が強かったことが印象的です。

ロータリーデーは、小児がん患者支援をテーマのIMも兼ね、多額の寄付金を得ました。会場に華やかさを加えた色とりどりのロータリーマークつきのバルーン配布とお子様が手作りする母の日の花束風バルーン等で好評でした。地区の皆様やグループ内クラブ会長等新たな知己を得、ガバナー補佐同志は固い友情で結ばれました。このような機会を与えられて感謝に耐えられません。

ロータリーデーは、小児がん患者支援をテーマのIMも兼ね、多額の寄付金を得ました。会場に華やかさを加えた色とりどりのロータリーマークつきのバルーン配布とお子様が手作りする母の日の花束風バルーン等で好評でした。地区の皆様やグループ内クラブ会長等新たな知己を得、ガバナー補佐同志は固い友情で結ばれました。このような機会を与えられて感謝に耐えられません。

2018-19 年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 福原 有一（東京銀座 RC）



銀座日本橋グループ ガバナー補佐の福原有一です。服部年度の1年間、準備から数えると2年と少し、ほんとうに有難うございました。お陰さまで私のロータリー人生でもとりわけ思い出深い年度になりました。

思い返しますと、辰野リーダーの下で充実したガバナー研修から始まり、毎月開催されたグループ協議会、その延長でグループとしては10余年ぶりに復活したIM、日本橋の伝統文化を披露したロータリー・デー、そしてグループの会員数は1,000名の大台超えと、あっという間の2年間でし

た。一連の活動を通じて服部ガバナーご提唱の「各人の絆を高めインスピレーションになる」方向が少しは実現できたのではないかと思います。

この間、毎月開催されたグループ協議会を通じて11クラブの会長・幹事の皆様其々が知り合え、人間関係が醸成出来たことに喜びを感じます。また、青柳地区代表幹事をはじめ地区の幹事団や研修チームの方々、常設・直轄委員会の皆様にも大変お世話になりました。安藤グループ幹事も私をしっかりと支えてくれました。浅田年度の銀座日本橋グループのご発展を祈念しつつ、服部年度のガバナー補佐を終えたいと存じます。ほんとうに有難うございました。

2018-19 年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 塚本 利光（東京京浜 RC）



70歳を越えて疾風怒濤の2年半を過ごすとは夢にも思わなかった。

その間ロータリーの活動として、京浜グループ富澤ガバナー補佐のIMの7年ぶりの開催、その実行委員長から始まった。

昨年度は自クラブの2度目の会長、服部年度ガバナー補佐の指名を受け地獄の特訓、第1回の会長・幹事会開催の直前に心臓の疾患による入院、欠席。佐藤仁グループ幹事の素晴らしい

采配で事無きを得たが、多難の幕開けであった。

その後、ガバナーの心配をよそに持ち前のマイペースで活動。

羽田よりのチャーター便の飛行を断念したグアムの地区大会、その嵐の中の京浜ナイト、ロータリーデーのイベント、ハンブルグ世界大会への参加と順調に推移、他人の評価はさておき、本人評価は花まるの優。楽しい時と本当に得難い友を得た。

支えてくれた多くの人々に感謝。

今、解放感に浸っているところである。

2018-19 年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 小島 篤 (東京西 RC)



今期はロータリーを深く理解し、高いプレゼン能力をお持ちの服部ガバナーのリーダーシップの下、様々な新しい企画が実行されました。ガバナーの地区運営方針「つながりを大切に」を掲げ、これを服部ガバナー自ら具体的な行動で示しました。まず地区チームの強固なつながりを形成した上で、一般のロータリアンに地区の内容や活動を理解してもらうため「ガバナー月信特別号」を発刊し、地区ホームページのアプリケーションも作成されました。また、ロータリーを知らない人達にもロータリーを知ってもらい、つながろうと初めて

地区主催のロータリーデーを開催し、これも大成功を収めました。当グループも服部ガバナーの呼びかけに呼応し、期前からグループ協議会を毎月行い、懇親も深めてグループ内のつながりを醸成して来ました。様々なイベントも思い出されます。山の手東11クラブの合同例会を開催し300人以上のロータリアンが参集した中「クイズで知るロータリー」と題した企画で、各クラブ会長が速押しクイズに挑戦し、大いに盛り上がりました。また、ロータリーデーの「金魚すくい」や「フードバンク」はグループ内各クラブ会員が大活躍でした。そして台風の中でのグアム地区大会の成功は、ロータリアンのつながりが生まれた、忘れられない思い出です。皆様一年間有難うございました。

2018-19 年度を振り返って

山の手西グループ ガバナー補佐 武藤 英正 (東京世田谷南 RC)



山の手西グループは、個性で活がある13クラブから組織されています。グループ内のバランスが絶妙で良いグループだと思って一年を過ごしました。ガバナー補佐になる前は、単純に大きなクラブが立派で、小さなクラブは会員を増強して大きなクラブに近づくことが良いと思っていました。しかしそうではない事はすぐにわかりました。小さなクラブは会長・幹事が一生懸命にクラブ内をもち立て、奉仕活動に知恵を絞っていました。しかし小さなクラブはマンパワーがありま

せん。良い奉仕活動の案があっても実現する事は簡単ではないからです。そこでグループ内に提案をさせていただきました。LINEというツールを使ってグループ内の横の連携をとったらどうですか。各クラブが写真をグループLINEにアップして情報を共有することです。今回小さなクラブからの提案で、グループ内が協力し、エイズの子供が描いた絵の展示の活動をする事ができました。この事はとても大きな1歩だと思っています。私はガバナー補佐としてあまりお役にたてませんでしたが、本当に皆さんに支えられた一年でした。これからも山の手西グループが大きな1つのクラブのように成長し合えることを望んでいます。

2018-19 年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 森屋 義政 (東京八王子北 RC)



多摩南グループは、八王子、町田、日野の3市、11クラブで構成され、ガバナー補佐、グループ幹事は輪番制となっています。その番が当クラブになり、私がパスト会長会議で指名され、ロータリーの精神に則り、役を受け2年半が過ぎました。服部ガバナーのリーダーシップの下でガバナー補佐を受けられた事は、大変、有意義だったと思います。ガバナー補佐研修会の時に、服部ガバナーより「地区も大事ですが、自クラブに軸足を置いてください」と言う言葉でインスパイアされました。年度が始まり、早い時期からのクラブ協議会、又ガバナー公式訪問、11クラブの奉仕活動や親睦会を知り、参考になりました。

11クラブで実行委員会を作り、11月12日(月)にインターシティミーティングを開催、各クラブのクラブ協議会に出席した時に悩みや苦勞されている事、変えよ

うとしている事を11の「テーマ」に皆様と考え、クラブと会員皆様のためになるグループ討議及び発表会としました。登録者は地区役員の方を含め331名と大勢の参加を頂きました。

10年に1度のグアム地区大会には、100名の会員、家族等を含めると122名の方々に参加して頂きました。50年に1度という台風に遭い思い出に残ったと思います。

ロータリーデーでは、多摩産材の木材を使用して「子供たちの工作、木製椅子の組立」を行い、家族で製作した人もいますが、11クラブの皆様が子供たちの手伝いをして楽しみながら寄付金を集め、88,000円をポリオ撲滅に寄付しました。色々な活動が出来た1年間だったと思います。

改めて、多摩南グループの会長、幹事、事務局の皆様、そして多大なるサポートして下さいました坂本グループ幹事に心より感謝し、御礼申し上げます。ありがとうございました。

2018-19 年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 安保 満 (東京昭島 RC)



年初のご挨拶で多摩中グループ会長・幹事との信頼関係を構築すること、対話や文脈を共有し「仲間」や「チーム」といった連帯感を育てていくことを何よりも重要と考え行動すると公言しましたが、今振り返るとその通りのグループ運営が出来ましたことに、多摩中グループの会長、幹事を始めとし、全てのロータリアンに感謝致します。

親睦ゴルフ、ロータリーデー、IMといった様々なイベントに多くのロータリアンが積極的に協力してくれま

した。また、13回に上るグループ協議会には会長・幹事の皆さんがほぼ皆勤で出席し、懇親会、2次会と全員参加で懇親を深める事ができました。

「ロータリークラブに入会する価値の本質を求めて」をコンセプトにしたIMでは会長・幹事が自クラブのおかれている外部環境、内部環境を総合的に評価し分析する作業を行い、結果を「会員増強・維持に関するSWOT分析」として纏め上げました。

ガバナー補佐としての活動を通して服部ガバナーのリーダーシップや多くの学び、気づきを得ることが出来ました。ロータリーの素晴らしさを以って実感した一年間となりました。

2018-19 年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 松村 信幸 (東京府中 RC)



年度開始一年前からガバナー補佐研修会が毎月行われ、準備万端の年度であることが感じられました。グループ協議会も12月から毎月行い年度が始まったころには各クラブの会長・幹事とも親しくなったのはグループ運営にとって大変良かったことだと思っています。

会員増強は現在6クラブが増強できていることはそれぞれのクラブが頑張っていることと推察いたします。増強がかなわなかったクラブも来年度以降花開いてくると期待しています。IMについては会員の増強が一番大切であると思う、各クラブの会員増強のヒ

ントになればと思い新会員をパネラーとして入会の動機やロータリー入会前と入会後の感想などを語ってもらいました。また、当地区のIMは2019年4月開催で、次年度の研修会もスタートしており、「つながり」というテーマで、会長経験者から次年度会長へアドバイスなどそれぞれの立場ごとのグループ構成をし、本音の討議をしていただきました。単年度制のロータリーですが、経験を少しでも次の方々につなげることが出来れば幸いです。今年度は地区大会もグアムで行われましたが、台風による飛行機の欠航で予定通り帰れなくなった方もいたり思い出に残る大会でした。初めて経験するロータリーデーも各クラブの協力を得て無事に終わることが出来ましたことはありがたく思っています。

2018-19 年度を振り返って

会員委員会 委員長 中村 純（東京西 RC）



今年度は地区内各クラブにおいて、より楽しく、より意義あるロータリー活動を行っていただくために、クラブの基盤強化を念頭に入れ、様々な活動を行ってまいりました。会員増強については女性会員、40歳以下の若い会員の増強に力を入れ、会員増強インスピレーションセミナー、そして、31クラブへ会員増強卓話を実施いたしました。また、6月の年度末退会を防止するため、各クラブあて退会防止レターを送るとともにグループ協議会を通じて再三にわたりお願いも致しました。

クラブどうしの交流を促進するため、多クラブ同好会を新しくスタートすることを推奨いたしました。ジャズ、スキー、陶芸、テニスの同好会が誕生し、今後多くの会員がクラブを超えて交流する足がかりができたかと確信しております。

また、携帯電話のアプリ化に絡み、役に立つ、そして楽しい情報を発信することにつとめました。今年のターゲットは新会員でもわかりやすい情報の作成を心がけ、多くの会員に読んでいただいたのではと思っております。

年度の締めくくりの一つとして、ロータリーデーの抽選会も担当させていただきました。会員同士が繋がり、親しくなるとともに、多くの会員にとってロータリーライフがより大切なものになったのではと願っております。

本年度の締めくくりの一つとして、ロータリーデーの抽選会も担当させていただきました。会員同士が繋がり、親しくなるとともに、多くの会員にとってロータリーライフがより大切なものになったのではと願っております。

2018-19 年度を振り返って

奉仕プログラム委員会 委員長 三浦 眞一（東京八王子西 RC）



本年度の奉仕プログラム委員会は、地区内各クラブが職業奉仕・地域社会奉仕・国際奉仕の各分野で、活発な奉仕活動を行っていただけたよう、支援をさせていただくことを最重点に活動しました。また服部ガバナーのご指導のもと、青少年委員会とのコラボレーションを図り、奉仕活動がロータリーの根幹であることを地区内各クラブの会員の皆様に再認識していただけたよう、～つながろう平成最後の大集合～のキャッチフレーズのもと「第6回 奉仕のつどい」を開催し、職業奉仕・地域社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各分野の発表を行い、400名を超える会員に会場にお越しいただき情報交換をしていただきました。

職業奉仕委員会は、職業奉仕セミナーを開催し、ロータリーにおける職業奉仕の在り方を水野・大槻・猿渡ガバナーにお話しいただくと共に、職業奉仕の歴史と意義を、映像を使い分かりやすく130名のロータリアンに学んでいただきました。また国際奉仕委員会は、PBGをはじめ世界各地で行われている国際奉仕事業に、多くのクラブが参加できる手法の情報提供を行い、1クラブでは達成困難な国際奉仕プロジェクトを、広く地区内に情報提供し多くの賛同をいただきました。そして地域社会奉仕委員会は、地区内各クラブが行っている地域密着型の事業の情報を収集し、HPを通じて情報提供を行い、各クラブの新たな事業構築への足掛かりを提供いたしました。

職業奉仕委員会は、職業奉仕セミナーを開催し、

ロータリーにおける職業奉仕の在り方を水野・大槻・猿渡ガバナーにお話しいただくと共に、職業奉仕の歴史と意義を、映像を使い分かりやすく130名のロータリアンに学んでいただきました。また国際奉仕委員会は、PBGをはじめ世界各地で行われている国際奉仕事業に、多くのクラブが参加できる手法の情報提供を行い、1クラブでは達成困難な国際奉仕プロジェクトを、広く地区内に情報提供し多くの賛同をいただきました。そして地域社会奉仕委員会は、地区内各クラブが行っている地域密着型の事業の情報を収集し、HPを通じて情報提供を行い、各クラブの新たな事業構築への足掛かりを提供いたしました。

一年間、間断なく活動を続けていただいた各委員会の皆様に、心より感謝を申し上げますと共に、私を支えてくださいました橋本・平塚両副委員長に御礼申し上げます、ご報告とさせていただきます。

2018-19 年度を振り返って

青少年奉仕委員会 委員長 時枝 紀子（東京中央新 RC）



青少年奉仕委員会にとっては大変忙しい年度となりました。一つは「奉仕のつどい」の奉仕プロジェクト委員会との共催。もう一つは「ロータリーデー」の午前の部での『青少年によるスピーチ大会』の担当です。服部ガバナーのご発案によるこの2つに企画は、広く青少年奉仕の5つのプログラムを知らしめる絶好の場となりました。『青少年によるスピーチ大会』では“ロータリーとのかかわり～つながろう～”というテーマのもと、インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA・

インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA・

インターンシップという5つのプログラムに参加した生徒・学生・若い人による生のスピーチは、出席した多くのロータリアンに青少年奉仕プログラムの成果と大切さを伝えることができました。同時に、このスピーチを聞いた若い方々にとっては、希望や夢を抱くインスピレーションになったことと確信しております。

青少年奉仕委員会の加藤副委員長・石川副委員長・森本副委員長はじめ5委員会委員長の方々のご尽力と熱意をいただき、この一年間、大変貴重で有意義な多くの経験をさせていただいたことを心より感謝申し上げます。青少年奉仕活動には沢山の感動と楽しさが詰まっています。

2018-19 年度を振り返って

公共イメージ委員会 委員長 山見 真弘（東京中央 RC）



本年度、公共イメージ委員会は「もっとロータリークラブを、奉仕活動を知ってもらいたい!」「もっと仲間を増やしたい・交流したい!」「ロータリーの情報をもっと知りたい!」という観点から、3つの小委員会を設け、それぞれに活動を計画、実践して参りました。

クラブ広報支援委員会：広報セミナーの開催、各クラブへの広報手法の支援を行いました。

IT推進委員会：地区Webサイトの更新及び簡易アプリの開発に取り組みました。

ロータリーデー委員会：組織委員会とともにロータリーデーの開催を行いました。

活動の効果測定としてはまだまだ不十分な面もございますが、次年度委員会にもこの流れを引き継いでいただくことで、さらなる公共イメージの重要性を浸透していただけたらと考えております。

この一年間ご協力を頂きました、各クラブの皆様並びに地区役員・ガバナー事務所、そして公共イメージ委員会の各位に感謝申し上げます。

2018-19 年度を振り返って

ロータリー財団委員会 委員長 高橋 茂樹（東京世田谷 RC）



ロータリー財団委員長の任期の3年間をお陰さまで無事終えることができました。3年間にわたりまして、ロータリー財団に対しまして多大なご支援をいただきました各クラブの皆様、地区チームとしてロータリー財団を支えていただきました地区役員の皆様、そして一緒にロータリー財団委員会の運営

に携わっていただいた委員の皆様、心より厚く御礼申し上げます。

委員長としての最初の年度であった2016-17年度はロータリー財団創立100周年の記念の年でした。2016-17年度、2017-18年度と2年度にわたり、年次基金の寄付額が地区では初めて80万ドルを超え、寄付総額でも日本の34地区の中で第1位の成績となるとともに「年次基金への寄付0クラブ0」も達成し、大変に素晴らしい結果を残すことができました。

2018-19年度は、服部ガバナーの掲げるポリオプラスへの寄付目標がロータリアン一人30ドルと変更になりましたが、すでにこの原稿を書いている時点で歴代第2位の大変に素晴らしい実績となっておりますし、最終的には2018-19年度も前2年間同様に素晴らしい結果で終わることができるかと思います。

また、本年度も寄付金だけでなく、補助金（地区補助金、グローバル補助金）の支給、グローバル補助金を使った奨学生の派遣、ロータリー平和センターへの支援、地区内各クラブで開催されたポリオ撲滅活動への支援等、充実した委員会活動を行なうことができました。その他、毎年発行していますハンドブックのリニューアル、昨年度に引き続いてのポリオプラスセミナーの開催等も行なうことができました。

地区内のすべての皆様に御礼を申し上げるとともに、絶大なご支援をいただきました服部ガバナーに心より感謝申し上げ、1年間を振り返ってのご報告とさせていただきます。

2018-19 年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 遠藤 泰夫（東京武蔵府中 RC）



今年度の米山奨学委員会は選考委員会・資金推進委員会・学友委員会の3委員会でも活動をしてきました。全体委員会でそれぞれの委員会の役割、事業担当委員会や開催日程調整を行いました。年度当初には米山奨学委員会の委員の研修会を開催し委員の奨学事業への理解促進を図りました。奨学生には

卓話に対する講習会を開催した結果、奨学生の卓話も良かったとの評価をいただくことができました。特に今年度はロータリーデー 2750 フェスタ2019では、サントリーホール（小ホール）での青少年スピーチ大会に米山奨学生2名にスピーチをお願いいたしました。スピーチ大会には多くの米山委員、奨学生、学友にご参加をいただく事ができました。これは2750地区学友会と地

区との連携が取れてきている表れと感謝しているところです。米山奨学委員会ではクラブ米山委員長セミナーを開催、選考委員会では指定校選定、指定校説明会、面接試験の他、奨学生期間終了式、新規奨学生へのオリエンテーション、カウンセラーセミナーを開催、資金推進委員会では奨学生への卓話の講習会、地区内クラブへの米山奨学委員、学友、奨学生の卓話講師の派遣を通して寄付増進の工夫を致しました。学友委員会では夏、冬の懇親会、広島への研修旅行、米山梅吉記念館への日帰り研修等奨学生、学友、ロータリアンとの数多くの交流、懇親会開催などいずれの事業も例年になく多くのご参加をいただき、服部ガバナーを始め地区役員の皆様、クラブ会長・幹事、カウンセラー等を始め多くのロータリアンの皆様に感謝申し上げます。皆様にはこれからも米山事業（人材育成事業）へのご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

★国際ロータリー第 2750 地区出席報告 (4 月分)★ District 2750 Membership Attendance Report April 2019

G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数				G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数													
				18年7月1日	19年4月末	増減	目標					18年7月1日	19年4月末	増減	目標										
千代田グループ	東京南	4	69.41	189	192	3	-1	多摩南グループ	東京八王子	4	87.94	62	70	8	0										
	東京芝	4	92.14	52	51	-1	0		東京町田	4	69.79	53	57	4	0										
	東京新橋	4	79.70	60	64	4	0		東京日野	4	84.66	34	34	0	0										
	東京赤坂	4	74.00	58	52	-6	0		東京八王子西	4	80.35	109	108	-1	-1										
	東京みなと	4	81.58	43	39	-4	0		東京町田・中	4	83.40	27	29	2	0										
	東京麻布	2	50.00	17	12	-5	2		東京八王子東	4	83.91	24	24	0	0										
	東京グローバル	3	61.90	22	21	-1	0		東京八王子南	4	92.00	77	77	0	1										
	東京サンライズ汐留	4	76.20	15	21	6	1		東京町田サルビア	4	75.68	31	29	-2	0										
銀座・日本橋グループ	東京銀座	4	69.82	176	179	3	2	多摩中グループ	東京飛火野	4	100.00	23	22	-1	0										
	東京日本橋	4	77.42	194	207	13	2		東京町田東	4	79.31	29	29	0	0										
	東京築地	4	85.24	71	75	4	0		東京八王子北	3	80.48	39	42	3	0										
	東京日本橋東	4	73.52	46	49	3	1		東京立川	4	96.99	113	114	1	2										
	東京中央	4	57.15	222	229	7	0		東京小金井	4	94.50	37	38	1	1										
	東京日本橋西	4	83.61	41	44	3	1		東京国分寺	4	98.33	36	36	0	0										
	東京銀座新	3	74.31	76	77	1	0		東京三鷹	4	64.96	44	44	0	-1										
	東京シティ日本橋	4	75.61	38	41	3	0		東京昭島	4	91.65	53	53	0	0										
京浜グループ	東京中央新	3	60.70	61	57	-4	1	多摩東グループ	東京国立	4	99.50	48	52	4	0										
	東京あけぼの	3	67.00	17	20	3	0		東京立川こぶし	4	90.12	91	93	2	0										
	東京山王	4	68.90	37	36	-1	0		東京井の頭	3	81.80	26	26	0	0										
	東京羽田	4	69.97	54	55	1	0		東京昭島中央	4	83.60	47	49	2	1										
	東京品川	4	81.15	46	49	3	0		東京武蔵国分寺	3	86.00	39	37	-2	0										
	東京大森	4	88.35	43	42	-1	1		東京小金井さくら	4	73.17	23	24	1	0										
	東京品川中央	4	77.88	33	33	0	0		東京国立白うめ	4	96.54	16	16	0	0										
	東京大井	3	89.70	16	13	-3	0		東京ピースウィングE	4	55.00	23	25	2	1										
山の手東グループ	東京田園調布	4	72.96	46	50	4	0	パシフィックグループ	東京府中	4	89.83	47	58	11	0										
	東京港南マリーン	4	63.75	22	22	0	0		東京調布	4	72.90	64	62	-2	1										
	東京大崎	4	65.23	28	30	2	0		東京多摩	4	76.19	30	33	3	0										
	東京蒲田	2	85.45	63	62	-1	0		東京多摩せいせき衛星	4	47.23	(8)	(9)	(1)	(0)										
	東京京浜	3	79.21	26	26	0	0		東京柏江	3	63.89	18	16	-2	0										
	東京田園調布緑	4	75.44	21	23	2	0		東京稲城	4	79.93	29	31	2	0										
	東京白金	3	78.80	29	33	4	0		東京武蔵府中	4	79.56	47	45	-2	1										
	東京高輪	2	72.73	19	22	3	0		東京たまがわ	3	71.21	19	22	3	0										
山の手西グループ	東京西	4	77.05	183	194	11	2	国内 90 クラブ計	東京多摩グリーン	4	86.43	26	29	3	1										
	東京城西	4	76.07	61	71	10	2		東京調布むらさき	3	80.36	68	71	3	0										
	東京西南	4	76.67	56	52	-4	0		東京iシティ	3	76.47	17	17	0	0										
	東京原宿	4	72.22	16	18	2	0		Guam			62	62	0	0										
	東京杉並	4	73.66	39	41	2	0		Saipan			45	37	-8	0										
	東京神宮	4	79.46	29	28	-1	0		Tumon Bay			59	59	0	0										
	東京恵比寿	4	78.98	117	116	-1	0		Northern Guam			35	32	-3	0										
	東京広尾	3	69.13	23	27	4	1		Pohnpei			21	22	1	0										
山の手西グループ	東京渋谷	3	67.53	34	35	1	0	地区 99 クラブ計	Palau			14	16	2	0										
	東京六本木	4	71.00	48	51	3	0		Guam Sunrise			17	18	1	0										
	東京愛宕	4	61.10	30	31	1	0		Truk Lagoon			6	6	0	0										
	東京世田谷	4	91.77	53	50	-3	0		Pago Bay Guam E			12	12	0	0										
	東京目黒	4	65.50	39	38	-1	1					4,454	4,575	121	19										
	東京成城	3	64.58	18	18	0	0					4,725	4,839	114	19										
	東京世田谷南	4	80.93	93	101	8	1																		
	東京城南	4	48.07	36	23	-13	-4																		
山の手西グループ	東京山の手	3	84.08	63	73	10	-1	千代田グループ	73.12	多摩南グループ	83.41														
	東京成城新	3	80.00	27	31	4	0		銀座・日本橋グループ		72.12	多摩中グループ	85.55												
	東京青山	3	78.60	20	24	4	0				京浜グループ		76.97	多摩東グループ	77.68										
	東京自由が丘	4	92.30	15	14	-1	0						山の手東グループ		72.99	PBグループ									
	東京世田谷中央	4	86.19	16	17	1	1								山の手西グループ		75.06	平均出席率	77.38 (PBGを除く)						
	東京米山友愛	3	62.00	32	32	0	0																		
	東京米山ロータリーEクラブ 2750	2	93.75	31	32	1	0																		
	東京代官山	2	48.00	25	20	-5	-1																		

国際ロータリー第 2750 地区 2018-19 年度 ガバナー 服部 陽子

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2018-19 Governor Hattori Yoko

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 服部 陽子 (2018-19) Hattori Yoko 2019

編集・制作：ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 西尾 孝幸 (東京西南) 副委員長 高柳 公康 (東京六本木)

委 員 林 康弘 (東京南) 竹平 時彦 (東京大森)

沢崎 和久 (東京町田) 上岡 広紀 (東京武蔵府中)

ホームページアドレス

<https://www.rid2750.org>